

偶像の誘惑は、神の目に向ては、尙ほ殺よりも悲し。汝の教に反對して之を拒む者あらば、見出し次第之を殺さざるべからず、何となれば、誘惑は殺戮よりも恐しきものなり。

神を信するを證するには、苦身、饑餓及富を失ひ、果物に缺くるも、尙ほ此の信を有するに在り。

男は女より勝れり、神は實に斯く作れり。

女を敬せよ、女より汝生れし故なり。

妻は二人、三人、四人までは之を許す。汝若し多くの婦に對して、公平なる能はざれば、唯々一人の女を娶るべし。

神の眼に於て最も悪しき家畜(豚)は、不潔なり。之れを食せば、身心共に穢るゝと知れ。

以上掲載したるは哥蘭經中の一小部分に過ぎずと雖も、其の粹を抜き要を摘めり。玩味し來れば、其の教義の全豹を窺知するを得ん。

哥蘭經の意義固より深し、予輩門外者は、容易に批評し難きも、回々教の本體は、猶